

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	社会福祉法人 伸康会 運動学習支援教室 ココノバ弘前校		公表日 2025年 2月 25日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	・ふだんは大丈夫である。	・利用者様が多い日はスペースが狭く感じることもあるので、環境を整備し工夫している。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	3	・職員の休みが重なると足りなくなるので、体調の管理に気を配っている。	・職員の体調管理。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	・視覚支援を行っている。 ・教室が2階なので、階段には手すりや滑り止めを設置している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	・毎日人が触る場所の丁寧な消毒を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	・いくつか小さな部屋があるのでそこを使用している。 ・部屋数が少ないので難しいが、使用できる範囲で使っていると思う。	・小部屋はあるが、ほかの用途と兼用しているので、部屋を整理するように心掛ける。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	・ノートや話し合いにより全員で共有している。 ・毎朝振り返りの時間を設けている。 ・全職員が参画する様にしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・保護者に向けても評価表を記入してもらい、結果を共有している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・毎朝話し合う時間を設けている。 ・毎日時間をとってミーティングを行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2	・不明 ・不明	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・毎月研修会を設けるようにしている他、様々な研修を受講している職員もいる。 ・できるだけ多くの研修に出席する様心掛けている。	
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	・午前の時間帯に模擬授業を行っている。 ・ホームページで支援プログラムを公表する予定。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	・入所時にアセスメントシートを記入してもらっている。 ・半年ごとに見直している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	・児発管だけでなく、全職員で共通理解できるよう話し合っている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	・全職員に聞き取りしたことを元に児発管が作成し、計画に沿った支援をしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	・日々の行動を支援記録に記載している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	・児童発達支援計画に、本人支援・家族支援・移行支援・地域疎遠・地域連携の項目を設け、具体的な支援計画を記載している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	・基本は担当制だが、相談し合ってアレンジを加えている。 ・毎日話し合っていて決めている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	・常に新しいプログラムを考え、状況に応じて変化させている。 ・毎日異なるプログラムを行っている。また、土・祝及び長期休暇では、毎回違うレクを行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	・集団活動をメインに置き、必要に応じて個別支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	・毎朝朝礼を行い、送迎の確認や療育の司会を全員で決めている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	・当日だけではなく全ての日を共有できる様ノート記録もしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	・毎日細かく支援記録を付けている。 ・毎日1人1人の支援記録をとり、改善に努めている。 ・毎日その日の出来事を支援記録に書いている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	・半年に一度以上モニタリングを行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	・要請に応じてサービス担当者会議を行っている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	・要請に応じて保育園等を訪問し、連携会議を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	・要請に応じて保育園等を訪問し、連携会議を行っている。	・利用者様の通っている保育園にココノバから働きかけていく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	3		・今後、情報共有を図れるように働きかけていく。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	0	0		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。	0	0	・できるだけ研修に参加するように心掛けている。	
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	0	0	・自立支援協議会の子ども部会や子育て会議に参加している。	
	31	(31は、事業所のみ回答)				
地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		2	3	・不明	・今後、情報共有を図れるように働きかけていく。	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	・今のところその様な活動はない。	・今後連携の機会を設けていく。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	・お迎えの際にも日々あったことの報告を行っている。 ・お迎えの時に、その日の出来事を話している。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	・保護者会では各ご家庭で工夫されている事等の話をうかがうことができた。	・保護者会では各ご家庭での様子をうかがうことはあったが、ペアレントトレーニングや研修の情報提供は行わなかった。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	・契約の時や制度の変更があった時などに詳しく説明している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	・保護者様や児童の意思を尊重した計画を立てるようにしている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	・半年ごとにモニタリングを行っている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	・毎日お迎えの際に、その日の出来事を詳しく話し、ご家族の様子をうかがうようにしている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0	・茶話会を行った。 ・保護者会を行った。	・茶話会(保護者会)を行う日時や頻度を考え、より多くの保護者の方に参加してもらえるようにする。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	・相談があった場合はすぐに対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	・毎月コロナバダよりを発行している。	・SNS等に掲載する際は利用者様の了解を確認した上で行うようにする。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	・十二分に留意している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	・視覚支援や意思疎通のための支援を行っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2		・どのような方法があるか検討中。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	・定期的な訓練を行っている。 ・年に2回以上、避難訓練を行っている。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	・1年に2回以上、避難訓練を行っている他、2月と8月には防災ウィークとして様々な状況の訓練する。	・曜日により利用する方が替るので、避難訓練の週間を設定し、全員が参加できるようにしていく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	・利用開始時に服薬状況の確認を行っている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	・利用開始時にアレルギーの有無の確認を行い、アレルギーのあるお子さんに対しては医師の指示書に基づくおやつを提供している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	・安全計画を作成している。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	・毎日のお迎えの時間や面談の際に話す時間を設けている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	・ヒヤリハットを起こさないことを最優先に考えた支援を行うとともに、万が一起きたための方策を検討している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	・虐待を防止するため、法人で研修を行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	2	・身体拘束をする生徒さんが通っていないため記載していない。 ・身体拘束は行わない。	